



## ギリシアRGCCがん遺伝子検査ラボ ニュースレター 【肝門脈中のCTCs数の増加は、肝転移の形成を予想させます。】

Medicine (Baltimore). 2016 Apr

### A High Circulating Tumor Cell Count in Portal Vein Predicts Liver Metastasis From Periapillary or Pancreatic Cancer: A High Portal Venous CTC Count Predicts Liver Metastases.

(肝門脈中の循環腫瘍細胞数の増加によって、膨大部領域癌や膵臓癌の肝転移が予想できる。肝門脈中のCTC数の増加によって肝転移を予想できる。)

Tien YW, Kuo HC, Ho BI, Chang MC, Chang YT, Cheng MF, Chen HL, Liang TY, Wang CF, Huang CY, Shew JY, Chang YC, Lee EY, Lee WH.

#### 論文要旨

膨大部領域癌や膵臓癌から放出された循環腫瘍細胞(CTCs)は、体循環よりも肝門脈系でより頻繁に検出され、肝微小転移の患者を識別するのに利用できると思われる。この研究の目的は、非転移性膨大部領域腺癌や膵臓腺癌の患者の門脈血中のCTCsの数のカウントが、続いておこるであろう肝転移の予測に使用できるかどうかを決定することである。画像によって識別できる転移が無い膨大部領域腺癌や膵臓腺癌と推定される患者の膵頭十二指腸切除術の際に、門脈血と抹消静脈血献体を同時に採取してCTCsの数を数えた。手術後に患者は、一年間三ヶ月毎に、腹部核磁気共鳴映像法やコンピューター断層撮影法で、肝転移が起きていないかモニタリングされた。病理学的に膨大部領域腺癌や膵臓腺癌と診断された60名の患者が、研究に使用された。多変量解析によって、門脈のCTCを数え上げることが、術後6ヶ月以内の肝転移の有意な予測因子になることが示唆された。門脈血CTC数の値が高かった(2mLの血液中に $>112\text{CMx}$ プラットフォームで推定されるCTCsと定義される)13名の患者中11名で、術後6ヶ月以内に肝転移を引き起こした。対照的に、門脈血中のCTCのカウント数が少なかった47名の患者中たった6名で、肝転移が引き起こされた( $P<0.0001$ )。112CMxプラットフォームで推定されるCTCsが、術後6ヶ月以内の肝転移を予測するのに、64.7%の感度と95.4%の特異度があった。当代の画像検査で検出できる転移が無い膨大部領域腺癌や膵臓腺癌の患者の膵頭十二指腸切除術の際に採取された門脈血中のCTCのカウント数が上昇しているのは、術後6ヶ月以内の肝転移の有意な予測因子であると、結論づけられる。

各位

R.G.C.C. 社ニュースレターのアブストラクトの訳を配信致しました。  
原文をご希望の際はお申し付けください。

会員向けの無料配信がございます。

<https://www.rgcc-group.com/index.php?page=newsletter>

にてお名前とEmailアドレスを入力の上、ぜひご登録をお願い致します。

ここに登録頂きますと、以下の情報が配信されます。

- ・ R.G.C.C.社ラボとコンタクトを持つ世界中の医師からの質問とそれへの返答内容。
- ・ 世界中のがんの専門医から寄せられる論文、治療の手法、意見、アイデア、CTCにかかわる世界の学会情報などの共有。
- ・ R.G.C.C.社ラボにおけるCTC、CSC、天然成分由来の抗がん治療製剤開発などにかかわる最新情報の配信。
- ・ CTC、CSCに基づき治療された患者群のフォローアップ統計の推進(これは再検査の際に提出される患者フォローアップシートへの記入がもととなりますので、ぜひご協力のほどお願い申し上げます)。

以上ですがぜひ、このサークルを広め役に立つ情報の共有を推進したくご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

株式会社デトックス